

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S21	施策名	高齢者の福祉事業、優待事業の見直し
担当部課	福祉部長寿課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 長久手市高齢者文化施設優待事業実施要綱、あったかあど交付要綱等
施策開始の背景、経緯等	利用者の偏りが見られる事業がある。 市民主体の事業へ移行する必要がある。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 事業の統廃合や事業主体の見直しを行う。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 高齢者文化施設優待事業、高齢者外出促進事業、敬老事業、長生学園事業
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 支出の抑制や市民協働の拡大を推進する。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	福祉事業の見直し											
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)							
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標							
		敬老事業記念品の見直しを実施	長生学園の事業主体の見直しに向けた検討	改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施							
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)							
		敬老事業	2,727千円	敬老事業	3,154千円	敬老事業	3,154千円	敬老事業	3,154千円	敬老事業	3,154千円		
		長生学園事業	0千円	長生学園事業	2,258千円	長生学園事業	未定	長生学園事業	未定	長生学園事業	未定		
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み							
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人							

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	優待事業の見直し											
		R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)							
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標							
		文化施設優待事業を廃止し、あったかあど協賛店舗へ移行 長生学園の中止(コロナ)	外出促進事業の利用実態を調査し、今後の方向性を検討	改正内容の実施	改正内容の実施	改正内容の実施							
		費用・実績(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)							
		文化施設優待事業	564千円	外出促進事業	5,220千円	外出促進事業	未定	外出促進事業	未定	外出促進事業	未定		
		外出促進事業	4,646千円										
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み							
		(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人	(延べ) 0 人							

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 当初の事業目的を達成することができないと判断した高齢者文化施設優待事業を、令和2年度をもって廃止した。 敬老事業において、令和2年度から、ござらっせ入泉券にかえて、榊長久手温泉で使用できる500円分の金券を配付した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 高齢者文化施設優待事業について利用者の固定化及び減少が顕著となり、当初の事業目的にそぐわないと判断したため廃止し、赤あったかあど協賛店として登録した。 敬老事業について、幅広い利用が可能となるように、ござらっせ入泉券から5枚綴りの金券へ変更した。
------	--------	---

評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 高齢者文化施設優待事業及び敬老事業については、令和2年度に事業見直しを実施することができた。 令和3年度は、N-バスの有料化にあわせて、高齢者外出促進事業の見直しを進める。 また、コロナ禍のため開催を見送った長生学園事業の実施主体についても見直しを行う。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) サービス利用者数や行事参加による実績値は把握できるが、利用による効果の測定ができていない。
-------	------------------	--

今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 令和2年度から継続して、高齢者の福祉事業及び優待事業全般について、更に見直しを実施し、効果的かつ適切な事業への転換を図る。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・高齢化の進行に伴う各種経費が増加している状況を鑑みて、各種敬老事業の目的を見直し、事業の統廃合などを検討してください。 ・支出の抑制、事業目的の明確化、世代間・地域のつながりの強化が図られるよう取り組んでください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、引き続き見直しを行ってください。
------	--------------------	--

内部意見への回答	
----------	--